

1面から
つづく

周首相追悼騒動が意味するもの

暗黙の対立、表面に

北京・天安門広場で五日起きた故周恩来前首相の追悼をめぐる数々の群衆と中国当局との衝突事件は、激動する中国国内情勢をさらに混乱へと追いやる契機をみせている。鄧小平・第一副首相に対する「走資派批判」、首相不在(華国鋒公安相が臨時に代行)という異常事態がつづく北京での流血事件は何を意味するの
か? 中国問題にわしい人たちに聞いてみた。

批判があるのに一般大衆が周首相の死を悼むということは、言い換えば、文革派の批判にもかかわらず、走資派にはまだまだ一般大衆の根強い支持があるということ、それがごんごのような事件になったのかもしれない。大体、中国人は周路線が正しいということを知っていますからね。文革派も焦っているんです。周首相の死についても、世紀の首相が死んだのですから、本来なら人民日報

は一年くらいはずっと追悼記事を出してもいいのに、出てこないのは文革派が言論機関をおさえているからです。ごんごの事件で国民党に殺された毛沢東主席の最初の夫人に哀悼の意を表する演説者が出たのも、暗に江青夫人を批判したもので、いよいよ出るべきものが出たということです。中国には周天武后、呂后の例もあり、女性政治口を出すことにほっとも敏感なんですよ。これか

たちは、文革で失脚した鄧小平副首相ら旧幹部を復讐させたり、現妻路線をどしどし推進した周首相のやり方に、修正主義化、ブルジョア化の危険を感じていたのでした。鄧副首相に対するいまの走資派批判も、口はこぞ出さないが周批判を含んでいたと私は思う。一方、周首相を敬慕する一般国民には、文革による、そうした走資派批判への不満がある。いま中国の政治的潮流をなしているこの暗黙の対立が、故周首相の追悼会をめぐって爆発したのではないかと、もう一つ、群衆の一人が毛主席の最初の夫人である楊開雲女史に哀悼の意を表明した(同A.P.P.の底流がわかってきますね)。

穏健・実務派の巻返し?

電)といのは、走資派批判を指している現毛沢東夫人の江青女史に対するあてつけでしょう。このことだけでも、今回の流血事件の底流がわかってきますね。

中嶋雄雄・東京外大助教授
「私が思っていた通りのが起こり、同時に走資派批判も行われた」といことです。聞いたところでは、すでに二月十九日にも

あはスイスイと、電線綱渡りをしたのしんでいたサルくんだったが、この雄姿が最後になってしまった(5日午後、練馬区関町五丁目撮影)

〇八%をわずかながら下回った。完全失業率(季節調整済み)が前月より下回ったのは四十八年の石油ショック以来初めてのことです。しばらく続いた上昇傾向も、ここにきてようやく頭打ちの兆しをみせ始めた。

ワンノ
ツノのま...

世田谷、杉並、練馬区を逃げ回るながら、六日あさ、田無署管内に逃げ込んだ。

世田谷、杉並、練馬区を逃げ回るながら、六日あさ、田無署管内に逃げ込んだ。



人語、夏、夜、電、光

三まて返すまておしは、

私鉄地下鉄駅売店発売毎月10日・25日発売

京王線 北野 15分乗 歩新入居可

●家賃3.5万 -3.6万
●札2ヶ月
●敷1ヶ月
●雑1,000

03-409-7251 池
03-432-6641 池

リウサ 渋谷店 池
新橋店 池

隔週 アパートマンション情報誌

志しの女日です。中国ではこの数日米、周首相を追悼する会が各地で開かれていたようです。つまり、清明節の当日以前から追悼会を開くというのは、それだけ周首相を追慕する気持が強いという表れでしょう。しかし、こうした追悼会が開かれたことを、六日朝まで人民日報(共産党機関紙)や北京放送、新華社電は、ひとこと報じていません。公式行事ではないけれどもあるでしょうが、あるいは周首相追悼会を開いた人たちによる走資派批判を非難しようという政治的意図を窺いとったからかもしれません。とすると、周追悼集は、実は走資派批判を推進する文革派に対する、穏健・実務派の巻返しということになり